

## あたご 定期検査入渠工事仕様書

### 船体部

- H-1 定期検査申請手続き並びに受検。臨時変更証申請、交付。
- H-2 船体上下架並びに滞架。169G/T
- H-3 船底外板(吃水線下)水洗い掃除、サンダー掛けの上、A/Cタッチアップ2回、A/F全面塗装2回。  
1回目ダークブラウン2回目ブラウン。塗膜計測20箇所。
- H-4 吃水線上発錆部サンダー掛けの上、A/Cタッチアップ2回、指定色ラバマリン807青全面塗装1回。  
船名、船籍港、乾舷標示など記入。(塗料:ドック支給)  
※船外トイレ排水口カバー(右舷側)取外しの上、上記と同様。
- H-5 両舷シーチェスト開放内部掃除、発錆部サンダー掛けの上、塗装2箇所(塗装仕様はH-3と同様)
- H-6 船底保護アルミ板新替。300×150×40mm×24枚(アルミ板:ドック支給)
- H-7 両舷錨及び錨鎖繰出し、錨鎖計測受検。錨及びスイベル(ショートチェーン)発錆部錆打ちの上、  
バンノー1500ブラック全面塗装2回、各節数マーカースラットにラバマリン200白塗装1回。  
錨鎖庫内掃除。チェーンストッパースライド調整。  
錨鎖庫内張り開放受検、発錆部錆打ち(特にチェーンパイプラッパ部)の上、エポマリンEX600グレー  
タッチアップ2回、全面塗装1回後に、内張り復旧。
- H-8 清水タンク(24トン)マンホール開放掃除、発錆部サンダー掛けの上、エポマリンFW100グレー  
タッチアップ1回後、全面塗装1回。  
塗装後に水洗い1回、清水24トン供給。
- H-9 船外波止め弁開放整備受検の上、A/C2回、A/F2回塗装。3個
- H-10 各水密扉パッキンチョークテスト。13枚
- H-11 粉末消火器(ヤマトSA-17NR×9本)の外観点検、薬剤交換の上、復旧。(検査記録提出)
- H-12 ボイド及びコファダム開放掃除受検。
- H-13 マグネットコンパス自差修正。2台(船橋頂部・操舵室内部 T-130)
- H-14 船首及び両舷航空機タイヤ及びシャックル、ロープ新替。  
船首タイヤ(5穴) 49×19×11本  
下部シャックル(雑) 19mm×22個(銅線止め)  
両舷タイヤ(5穴) 49×19×6本  
ロープ 18mm×8m×12本  
タイヤ処分 17本
- H-15 マスト全灯火取外しの上、発錆部サンダー掛け、A/Cタッチアップ2回、指定色(ラバマリン200白  
タッチアップ1回後、指定色ラバマリン200白全面塗装1回。
- H-16 ハウス全層養生の上、指定色ラバマリン200白全面塗装1回。
- H-17 両舷甲板機発錆部錆打ちサンダー掛け(ドラム・アンカークラッチハンドル、ドラムクラッチエアーストン  
チェーン捌き取外し)の上、A/Cタッチアップ2回、指定色ラバマリン807青タッチアップ1回後、  
全面塗装1回。

H-18 下記クリーニング施工。

1)毛布	38枚	2)毛布カバー	10枚	3)シーツ	11枚
4)枕カバー	11枚	5)カーテン	11枚	6)カーテン止め	11枚

H-19 電動通風機(機関室2台、推進機室1台)取外し、通風機室(2室)内部発錆部錆打ちの上、エポマリンEX600グレータッチアップ1回、全面塗装1回。  
モーター開放ベアリング交換、薬品洗浄の上、復旧。通風機全台内外部全面塗装1回。  
通風機取付フランジ、ラバーパッキン取替え施工。

H-20 空調装置(室内機・室外機)の熱交換器を薬品洗浄、室内機送風ファンの軸受並びにVベルト交換。  
冷媒ガス量の確認(補充)、各部復旧後に作動テスト施工。  
室外機を養生の上、室内発錆部錆打ちの上、エポマリンEX600グレータッチアップ1回、全面塗装1回。

H-21 船尾アーチクラック箇所切替。(切替範囲200×200mm)

H-22 船内各部養生の上、通路並びに階段の床面を研磨後、アクアコート5050(442緑)を全面塗装1回。

H-23 トイレ(下段)タイルクラック部及び周辺歪み箇所補修。

H-24 両舷外板排気管ドーナツ部材溶接腐食部、足場設置の上、肉盛り溶接。A/Cタッチアップ2回、指定色(ラバマリン807青)タッチアップ1回塗装。

H-25 一般諸費用。

1)陸電供給。 2)清水供給。

H-26 環境対策費。

1)一般廃棄物処理費。  
2)船底付着物(貝殻類)廃棄物処理費。  
3)廃油、ビルジ処分費。  
4)廃ペイント(容器含む)処分費。  
5)ゴム製品処分費。  
6)鉄くず処分費。(空ドラム・ペール缶)

## 機関部

- M-1 主機関(ニイガタ6L26HLX×2基)  
シリンダーカバー開放、起動弁、吸排気弁摺り合せ、燃料弁開放掃除、ノズルチップ新替の上圧力調整(330K)、各不良部品新替復旧。カラーチェック施工受検。
- M-2 両舷ピストン全数抽出、ピストンピン開放、各部掃除計測(記録提出)。  
コネクティングロッドセローション部マグナフラックス施工受検。
- M-3 両舷シリンダーライナー抽出(No.1, 2)、各部掃除計測、防蝕ペイント塗布復旧。(記録提出)
- M-4 主軸受下半部全数開放、各部掃除点検、クランクピン真円度計測及びカラーチェック施工。
- M-5 クランクデフレクション計測、記録提出。(下架後1回)クランクケース内掃除。  
クランクケース内掃除新油張り込み復旧。
- M-6 調速機開放掃除点検の上、不良部品新替復旧。(整備記録提出)
- M-7 主機付属ポンプ開放掃除点検、不良部品新替復旧。  
1)海水ポンプ 2台 2)清水ポンプ 2台 3)潤滑油ポンプ 2台 4)燃料供給ポンプ 2台
- M-8 カムケース開放掃除受検。
- M-9 過給機(TSU製 TPS-57D×2基)  
陸揚げ開放、各部点検掃除計測、不良部品新替の上調整復旧。
- M-10 下記冷却器、掃除圧力テスト、亜鉛新替復旧。  
1)インタークーラー (内外部) 2台 2)潤滑油クーラー (外部) 2台  
3)清水クーラー (内外部) 2台 4)甲板機潤滑油クーラー(外部) 1台
- M-11 両舷ガイスリンガー開放陸揚げ掃除点検、不良部品新替復旧。
- M-12 両舷中間軸受(No.3)上半部開放ベアリング点検受検。
- M-13 推進器(ZP-21)  
推進器陸揚げ、主要部開放点検不良部品新替復旧。  
1)両舷プロペラ取外し研磨、シールリング及びシールライナー新替。  
2)現油抜取り処分の上、新油張り込み。  
JXスーパーハイランド100×2000L(新油船主支給)  
3)パワーユニット現油抜取りの上、タンク内部掃除、新油張り込み。  
JXスーパーハイランド68×140L(新油船主支給)  
4)ZP潤滑油クーラー海水側掃除、亜鉛新替、圧力テスト施工。  
5)ZP室開口部天蓋取付台座は、サンダー掛けの上、錆止め並びに上塗り緑塗装。  
6)両舷排気管取外し、ボルトナット、メタルガスケット(400A)交換並びにフランジ面腐食部肉盛り溶接  
7)上部ギアケース取外し、点検カバー開放。各ギア及びベアリング点検及びカラーチェック施工。  
クラッチ(ブレーキ)開放点検、計測、カクリング、パッキン取替え復旧。(記録提出)  
8)チャージポンプ及び傾転ポンプ取外し、開放点検整備。ボールガイド等消耗部品交換復旧。  
9)旋回油圧モーター取外し、旋回歯車及びピニオンギア歯当たり点検。  
シールキャリア摩耗確認の上、旋回筒オイルシール取替え復旧。  
10)ギアカップリング及びピニオン軸拔出し、ギア並びにベアリング点検。カラーチェック施工。  
11)下部ギアケース開放、プロペラ軸拔出し開放掃除整備、テーパー部マグナフラックス受検。  
各ギア歯当たり及びベアリング点検カラーチェック施工、復旧。  
12)組立後、油密テスト施工。

- M-14 油圧クラッチ(AGCP142BY×2基)  
主要部開放点検、入力軸受け、ニードルベアリング及びフィルター等不良部品新替復旧。  
マサツプレート並びにスチールプレート(推進、ブレーキ)摩耗計測。(記録提出)
- M-15 主発電機関(ヤンマー6CHL-HTN×2基)  
シリンダーカバー開放、吸排気弁摺り合せ、燃料弁ノズルチップ掃除の上圧力調整、  
各不良部品新替復旧。カラーチェック施工受検。
- M-16 両舷ピストン全数抽出、ピストンピン開放、各部掃除計測。(記録提出)
- M-17 両舷シリンダーライナー全数抽出、各部掃除計測、防蝕ペイント塗布復旧。(記録提出)
- M-18 過給機(TF07-13M)開放整備、不良部品取替の上調整復旧。
- M-19 クランクデフレクション計測、記録提出。(下架後1回)
- M-20 下記クーラー取外し内外部掃除、垂鉛新替、圧力テスト施工。  
1) インタークーラー 2台 2) FWクーラー 2台 3) LOクーラー 2台
- M-21 下記ポンプ開放掃除点検、不良部品新替復旧。  
1) 海水ポンプ 2台 2) 清水ポンプ(サーモスタッドの開放掃除含む) 2台  
3) 潤滑油ポンプ 2台
- M-22 機関吊り上げ主軸受開放、受検復旧。  
付帯工事としてギアケース、オイルパン取外し、ブロック横転組立復旧。  
クランクピン計測およびカラーチェック施工受検。クランク軸のオイルシール交換。
- M-23 クランクケース内掃除。新油張り込み施工。(JXマリンT204)  
FO及びLOフィルターエレメントの交換。
- M-24 セルモーター及びオルタネーター開放点検整備。
- M-25 両舷発電機開放、内部エアブロー掃除。2台
- M-26 主配電盤各部点検及び電路メガーテスト施工。(記録提出)
- M-27 空気圧縮機(三和鉄工S5A型×2基)ピストン抽出、主要部開放掃除点検、不良部品新替復旧。
- M-28 空気槽(主2)ヘッダー取外し、開放諸弁摺り合せ受検復旧。
- M-29 下記電動機開放、内部薬品洗浄、各軸受新替復旧。  
1) 空気圧縮機モーター(3.7kw) 2台  
2) 燃料移送ポンプモーター(0.4kw) 1台(清浄機用)  
3) GSポンプモーター(7.5kw) 1台
- M-30 下記ポンプ開放掃除、不良部品新替復旧。  
1) GSポンプ 1台 2) ビルジポンプ 1台 3) 燃料移送ポンプ(清浄機用) 1台  
4) 予備潤滑油ポンプ 1台
- M-31 LOドレンタンク(4KL)ガット開放掃除、潤滑油処分の上、新油張り込み。  
JXマリンT204×3600L(新油船主支給)
- M-32 FOドレンタンク(30KL)及びサービスタンクガット開放、燃料抜き取り保管の上、掃除受検。

- M-33 清水膨張タンク開放、内部掃除復旧。
- M-34 船底弁(10個)開放掃除摺り合せ復旧。
- M-35 甲板機械油圧タンク内掃除、作動油処理の上、新油張り込み。  
JXマリンスーパーハイランド46×400L(新油船主支給)  
タンク内部フィルター取外し掃除復旧。
- M-36 機関室ビルジ(3kl)陸揚げの上、ビルジ溜り掃除。(ビルジ処理証明書発行)
- M-37 遠隔操縦装置点検整備施工。C級  
両舷ガバナーハンドル用リミットスイッチ等消耗部品交換。
- M-38 油水分離器及び吸入ポンプ開放整備の上、作動テスト施工受検。
- M-39 機関各部開放検査並びに効力検査受検立会い。  
係留運転並びに海上試運転立会い。機関各部計測の上、記録提出。  
海上試運転終了後に燃料及び潤滑油ストレーナー(1次、2次)取外し、掃除復旧。
- M-40 両舷主機インタークーラー出口海水パイプ交換。  
80A×曲がり1×チーズ1×フランジ2×角フランジ1×8A1/4ソケット2×2本
- M-41 両舷主機～ZP室クーラー隔壁貫通部、海水パイプ交換。  
40A×2000mm×フランジ2×スリーブ2×2本  
付帯工事として隔壁貫通部パイプ及びスリーブ撤去の上、作成したパイプ、スリーブを隔壁に  
溶接取付復旧後、A/Cタッチアップ2回、指定色(ラバマリン200白)タッチアップ1回塗装。
- M-42 船底弁海水ストレーナー(主機、発電機、GS)開放掃除受検。
- M-43 機関室主機排気管サイレンサー隔壁貫通部、隔壁クラック防止の為、ダブリング施工。(部材船主支給)  
全周溶接後、A/Cタッチアップ2回、指定色ラバマリン200白タッチアップ2回塗装。